

「語りもんそ」

Vol.27 平成25年8月31日発行

この通信誌は、宝山ホールで活動されているボランティアスタッフによって発行されています。

♪♪♪ 日曜の朝にカフェで音楽を ♪♪♪ カフェ ミニコンサート

出演 (公財) 鹿児島県文化振興財団
アーティストバンク登録アーティスト
宝山ホール2階 “カフェ マ・ナ～ナ

毎月1回 日曜日の午前10時30分から11時15分まで、開催されています。

(入場料は無料ですが、要ワンオーダー)

●7月14日(日)は、米丸由樹さん(フルート)と大迫里会さん(ピアノ)のお二人で“愛の挨拶”、“ガヴォット”、“ト長調のメヌエット”、“乙女の祈り”や、ふるさとの四季より“故郷”“朧月夜”“茶摘”“夏は来ぬ”“われは海の子”など15曲が演奏されました。アンコールにこたえ演奏された東日本大震災復興支援曲“花は咲く”では口ずさむお客様も多く心地よい爽やかな夏の朝になりました。



米丸由樹さん(フルート)・大迫里会さん(ピアノ)

○お客様に感想をお聞きしました

・日高真紀子さん

鹿児島市

「このカフェミニコンサートは友人に紹介され6月から聴きにきていますので今日2回目です。こんな間近で一流アーティストの方の生演奏が聴けるとはなんて幸せなことでしょう。季節感ある選曲とお二人の素晴らしい演奏にのせて、絵を描きたくなり演奏中のお二人を描いてしまいました。クラシックから季節の音楽まで楽しむことができとても癒されました」と話して下さいました。



日高真紀子さん(中央)



日高さんのスケッチ

●8月25日(日)は、福富貴子さん(ソプラノ)、美代開太さん(バス)、神園茉莉香さん(ピアノ)の3人で、「菩提樹」「O sole mio」「歌劇「ドン・ジョヴァンニ」より君の手をとり」など11曲が演奏されました。

○山王初美さん 鹿児島市喜入
「近くで聴く福富さんの歌声はやっぱり素晴らしいです。バスの美代開太さん、ピアノの神園茉莉香さんもすてきでした。アンコール曲“Time To Say Goodbye”は大好きな曲だったのでうれしかったです」



福富貴子さん 美代開太さん 神園茉莉香さん

○受講者に感想をお聞きしました

・神田智子さん 鹿児島市明和
「1年前まではクラシック音楽とは無縁でしたが、ある日生演奏で聴いたピアノの音がとても心地よくこれがきっかけでクラシックコンサートに行くようになりました。キリシマ祝祭管弦楽団公演のポスターに今回のプレセミナーの案内が載っており、ワーグナーについて何も知らなかったし“イタリアオペラ”と“楽劇”の違いも知らなかったので受講しました。疑問も解決しあらずじもよくわかったので公演当日がとても楽しみです」と話して下さいました。



公演の鑑賞に来られた神田智子さん

キリシマ祝祭管弦楽団公演 プレセミナー

6月15日(土)、6月29日(土)
講師 齊藤 祐氏(鹿児島大学教授)
宝山ホール(第3会議室)

8月1日(木)に上演される楽劇「ニーベルングの指環」第1夜“ワルキューレ”より第1幕が、より楽しめるようにと、イタリアオペラとワーグナーオペラの違い、時代背景、エピソード、見どころ・聴きどころをスクリーンに映し出されるドイツでの公演映像と共にわかりやすく解説がありました。受講された方は「当日の公演がとても楽しみです」と多くの方が話して下さいました。



プレセミナー会場

第34回霧島国際音楽祭

キリシマ祝祭管弦楽団公演

8月1日(木) 宝山ホール

音楽祭の総力を挙げて構成された特別オーケストラのキリシマ祝祭管弦楽団はワーグナーチューバなど、めったに見られない楽器も登場し、鹿児島市出身の下野竜也さんの指揮で開催されました。

○お客様に感想をお聞きしました

・田原順子さん 鹿児島市
「今年でもう34回、私が音楽祭を観に行ったのは霧島のキャッスルホテルのロビーであった時からと覚えております。指揮者の下野さんが今年の楽団は大きくなっておりまると言われました。演奏も豊かな音色で観客を魅了しており、又楽劇は字幕付きで内容が理解でき3人の澄んだ声と美しさに心もうちとりました。指揮者の下野さんの迫力にはぐっとくるものを感じ、昼間の暑さを忘れる素晴らしい音楽祭でした」

平成25年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業
宝山ホール探検隊！！

8月6日（火） 宝山ホール

小学校高学年から中学生までの参加者30名が3グループに分かれ、ふだん見ることが出来ない舞台の照明・装置、せり、音響室、楽屋等の設備を実際に見て、触れて宝山ホールを楽しく探検しました。
○探検の一部をご紹介します



舞台装置・設備の説明 セリに乗り奈落へ



音響卓（音響室） 調光卓（調光室）



楽屋（気分はAKB48です）

○感想をお聞きしました

・野村日菜乃さん（小5） 鹿児島市
「宝山ホールは発表会の舞台上で演奏した経験があったので、ホールのことが知りたくて参加しました。ふだん見ることができないところが見られて良かった。シュート棒を使って舞台の照明器具を動かし、スポットライトで舞台を照らし音や光の色の調整などの体験がとても楽しかった」



野村日菜乃さん 美穂さん（母） 英汰くん（弟）

平成25年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

チャレンジしよう「日本の伝統文化」

～お茶・生け花・日本舞踊入門講座～

8月16日（金）宝山ホール 県民交流センター

小・中学生のみなさんが、日頃学ぶ機会の少ない日本の伝統文化である、お茶・生け花・日本舞踊にチャレンジしました。



日本舞踊（吾妻流） 講師は烏野ユリ子先生



生け花（小原流） 講師は鈴木査智子先生



お茶（裏千家） 講師は溝口陽子先生

○受講生に感想をお聞きしました

・笹平郁乃さん（小4） 鹿児島市
「日本舞踊は初めてで不安があったけどとても楽しかった。生け花は自分で考えて切ったり挿したり、自由に挿すだけと思ったけど、立てる形や開く形などあることがわかりました。

自分の作品が先生から、「とても楽しい感じだね」と言われた時は嬉しかったです。生け花はむずかしいことがわかったけど、花の名前をたくさん覚えてお花と仲良くなります。

今日は日本の伝統文化の日本舞踊と生け花に初めてチャレンジしたけどとても楽しかったです」



古川彩香さん(左) 笹平郁乃さん(右)

平成25年度文化庁次代の文化を創造する新進芸術家育成事業

さわってみよう 能の世界

8月23日・24日 かごしま県民交流センター

●8月23日(金)は、小中学校教員、教職課程の学生の方々を対象に、能楽を知って頂き、また、「伝統音楽を授業で効果的に扱える方法」について、能楽師と共に考えて頂くことを目的に実施されました。

内容は、能楽のお話、謡体験、囃子の体験をしました。



●8月24日は、小・中学生を対象に能楽体験講座として、能・狂言のせりふや動きに挑戦し、能の楽器に触れました。



笛

大鼓



太鼓

小鼓

○金沢美結さん(中1年) 鹿児島市

「日頃できない体験ができて良かったです、楽器体験では笛の音を出すことができなかったけど、音が出るように頑張ったので一番楽しかった。そして興味を持ちました」



金沢慶孝くん・優芽ちゃん・美結さん・知世美さん

日本の古典

能・狂言 鹿児島公演

8月24日 かごしま県民交流センター(能舞台)

- 【演目】
- ・仕舞(今春流)“松風” 上野寧子
 - ・狂言(和泉流)“清水” 野村万禄
 - ・能(金春流)“熊坂” 辻井八郎

※上演前に演目の内容や見所の解説もありました。

○西園直美さん 伊佐市菱刈

「8才の娘と鑑賞しました。鹿児島に本格的なすばらしい能舞台があることを初めて知り、五感をフルに使い日本の伝統文化を堪能できました。

子どもたちも仕舞・謡・能の楽器にふれる体験ができて今日は本当に充実した1日となりました」



西園はなちゃん 西園直美さん

《今回の取材担当》

取材記事 広報ボランティア 城勝美・中園文夫
 撮影・取材記事 広報ボランティア 四十住 孝行

宝山ホール広報ボランティア 『語りもんそ』編集部
 〒892-0816 鹿児島市山下町5-3 宝山ホール
 電話 (099)223-4221 FAX (099)223-2503